

# もり エコ森林通信 vol.1

～エコ森林って何ですか？～



当社では札幌市郊外に森林を保有しています。  
その森林を「エコニクスの森林」と名付け、私たちは「エコ森林」と呼んでいます。  
これまでも時折、当社HP上で「エコ森林の四季」として「エコ森林」の紹介をして  
きましたが、なかなか認知度が上がりませんでした。  
そこで「エコ森林」の知名度アップと有効活用の検討を進め、それらについて「エコ  
森林通信」として当社の陸域環境チームから発信させていただきます。

第1回目は、「エコ森林」の紹介をしたいと思います。

皆さんは林野庁が実施している「法人の森林」制度をご存知でしょうか。

「法人の森林」制度とは、国とわれわれ企業等がともに森林を造成・育成し、伐採後  
の収益を一定の割合で分け合う制度（分収林制度）のことで、既存の森林の整備をする  
「分収育林」と、植林によって新たな森林を造成する「分収造林」の2つがあります。

「エコ森林」は前者であり、当社ではこの森林を長きに渡って保全していくことによ  
り、これらの森林が水源かん養（洪水の防止、流域の貯水、水質の浄化）、国土保全（土  
砂の流出防止）、生物多様性の維持等、様々な事がらに貢献し続けられると考え「不伐の  
森林」として保有しています。この「エコ森林」が発揮している水源かん養、山地保全、  
環境保全（二酸化炭素の吸収）への貢献度について林野庁が評価し、年1回報告を受け  
ています。これによると、エコ森林では年間で約100万円分の環境保全に貢献できてい  
ることになります。

## ●エコニクスの森林による環境貢献度

測定項目	評価項目	物量	年間効果評価額
水源涵養便益	洪水防止便益	0.1021m <sup>3</sup> /s	28.8万円
	流域貯水便益	2,722m <sup>3</sup>	9.1万円
	水質浄化便益	2,722m <sup>3</sup>	18.7万円
山地保全便益	土砂流出防止便益	92m <sup>3</sup>	37.3万円
環境保全便益	炭素固定便益	9.8t-CO <sub>2</sub>	5.4万円
合計			99.3万円

2020年度からはこの「エコ森林」を使って、新たな試みを開始していきたいと考えて  
います。その新たな試みや「エコ森林」についてのトピックをこの「エコ森林通信」で  
発信していきます。

■ “「法人の森林」制度”。林野庁。

<[https://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu\\_rinya/kokumin\\_mori/katuyo/kokumin\\_sanka/hojin\\_mori/index.html](https://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu_rinya/kokumin_mori/katuyo/kokumin_sanka/hojin_mori/index.html)>

■ “エコニクスの森林[もり]とは”。株式会社エコニクス。

<<http://www.econixe.co.jp/forest/>>